

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【地震一口メモ】

緊急地震速報について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

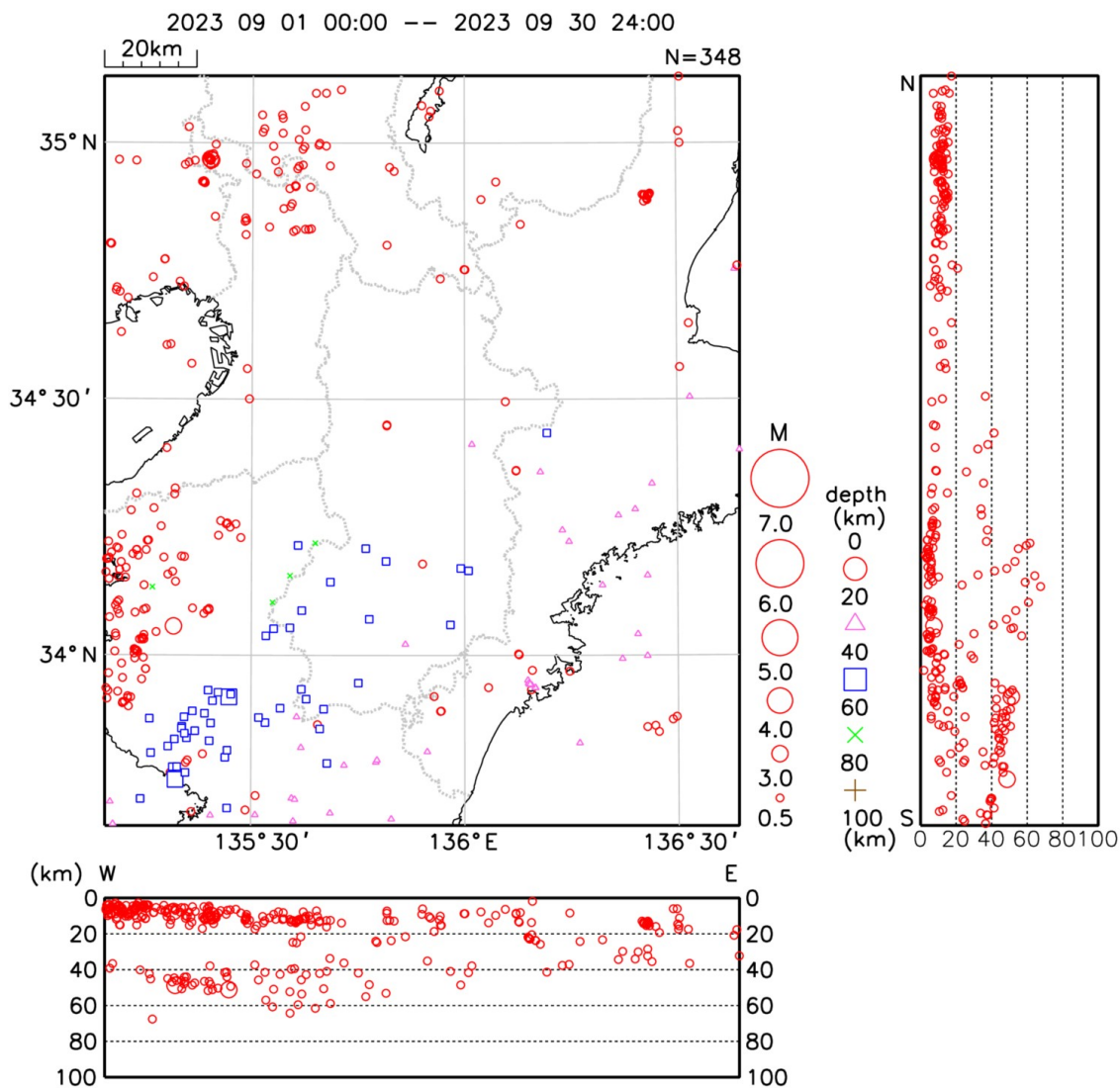
奈良地方気象台

2023年9月

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



【奈良県地震概況】

奈良県内で9月に震度1以上を観測した地震はありませんでした。

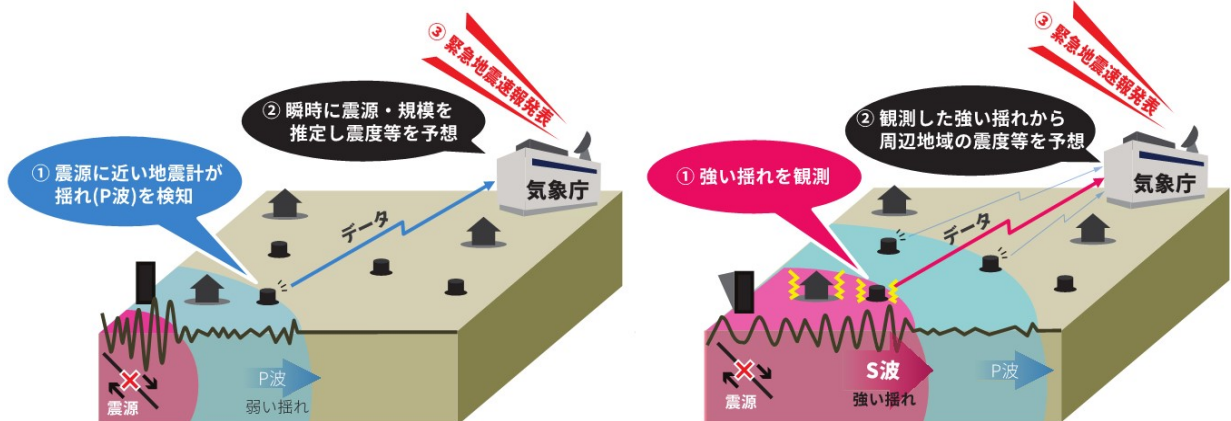
【地震一口メモ】

～緊急地震速報について～

緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度、長周期地震動階級を予想し、可能な限り素早く知らせ、強い揺れが伝わる前に身を守る行動を呼びかける情報です。テレビ、ラジオ、防災行政無線、スマートフォン等で見聞きできます。

地震では、P波とS波の2つの地震波（揺れ）が発生します。P波はS波より早く伝わる性質があります。一方、S波は強い揺れにより被害をもたらします（S波を地震の主要動とも呼びます）。緊急地震速報は、P波を検知して地震の発生場所や規模を解析し、強く揺れると予想した地域を対象にS波が伝わる前に発表します。

また、巨大地震が発生した際でも精度良く震度が求められる予想手法により、これまで予測が難しかった震源から遠く離れた地域の強い揺れに対しても精度良く緊急地震速報を発表することができるようになりました。



緊急地震速報のしくみ

しかし、内陸の浅い地震など、私たちが生活している近くで地震が発生した場合、緊急地震速報が発表される前に強い揺れが伝わることもあります。実際、2018年6月の大阪府北部の地震（M6.1 最大震度6弱）の時は、地震波を検知してから3.2秒後に緊急地震速報を発表しましたが既に県北西部には強い揺れが伝わっていました。

そのため、緊急地震速報を見聞きした時や突然、強い揺れを感じたら、周囲の状況に応じて、あわてずに適切に身を守る行動がとれるように日頃から地震が起きた際の行動について深く考えておきましょう。

なお、緊急地震速報を活用した全国的な訓練を以下日程にて実施する予定です。お住いの自治体や商業施設などで訓練が行われる際は積極的に参加するようにしてください。

緊急地震速報の訓練

実施日時 令和5年11月2日（木）10時00分頃

参加機関 国の機関、地方公共団体、学校、民間企業等

URL <https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/2023/02/kunren.html>



気象庁 緊急地震速報訓練
特設サイト

本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去6年間程度分掲載しています。
URL : <https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>